

ミミズの手帳投稿ガイドライン

日本土壌動物学会編集委員会

このガイドラインは、2021年7月9日から適用する

「ミミズの手帳」は、土壌動物学の深化や動向把握に関わる内容を掲載するコーナーで、土壌動物学に関する問題提起や意見、学術的トピック、採集記録、文献紹介、追悼文などを掲載の対象とする。

「どろのむし通信」にも、同様の記事を投稿できるが、以下の点で区分される。

1) 査読について

「ミミズの手帳」は、査読は行わないが、編集委員会によって投稿原稿が以下のガイドラインに該当するか否かをチェックする。また、編集委員会は著者に修正依頼、どろのむし通信への投稿先の変更依頼をすることができる。なお、「どろのむし通信」は、査読はなく、編集者から著者に誤字脱字等の修正依頼は行うが、投稿先の変更依頼等は行わない。

2) 字数・頁数の制限

原稿は2000文字（英文の場合は1000ワード）以内、図表を含めて2頁を上限とする。なお、本誌短報の頁上限は4頁以内、どろのむし通信は頁数の規定はない。

3) 原稿の内容

- A) 土壌動物学に関する問題提起や意見
- B) 学術的（生態・分類）トピック
- C) 採集記録（学術的に価値（新規性）のあるもの：例えば、日本初（日本数例目）の採集記録【日本（世界）における過去の記録など。新規性が担保される内容を明記すること】、外来種や地球温暖化指標種などの新分布記録など）
- D) 論文・書籍紹介（モノグラフなどの学術論文、欧文の専門書など）
- E) 追悼文（学術的業績を中心に記述）

なお、『どろのむし通信』の原稿内容は以下の通りである。

- a) 大会関係の記事（大会案内・大会報告・受賞記事など）
- b) 土壌動物に関する雑文・随筆・トピック（会員向け）
（解説、勉強会報告、国際学会報告、留学体験談、フィールド紹介、コラムなど）
- c) 採集記録（会員向け）
- d) 論文・書籍紹介（会員向け：絵本や写真集、日本語の書籍全般）
- e) 追悼文（会員向け）
- f) 修論・学位論文要旨
- g) その他